

学校教育目標

- ・学習指導要領 ・学校図書館法
- ・指導室重点事業
- ・子ども読書活動推進計画
- ・江戸川区立小中学校読書科

指導指針 等

- ・人権を重んじ自他を敬愛する(礼儀)
- ・自主自立の習慣を身に付け将来を目指して自己実現を図る(自律)
- ・心身を鍛え、個性の発揚を図る。(自律)
- ・所属社会の向上と環境改善を目指して着実に努力する(開拓)

- ・生徒の実態 ・保護者の願い
- ・地域の実態 ・教師の指導観
- ・社会の要請

学校図書館の目標

- ・読書を通して豊かな心を育てる。
- ・正しい情報を選ぶ能力を育成し、自ら学ぶ意欲を向上させる。

ねらい

- ① 読書への関心を高め、幅広い知識と深い思慮、柔軟な心を育てる。
- ② 正確な情報を得て、学びを深め発展させる。

指導の重点

- ① 読書活動の推進と学校図書館の活用推進
- ② 図書館と教科の連携による指導内容の充実
- ③ 教員の共通意識のもと、学校全体で図書館活用を推進していく。

各学年の重点目標

- 第一学年** 読書の習慣を身に付け、豊かな感受性を育む。目的に沿った本を探し、知識を得る。
- 第二学年** 多様なジャンルの本に親しみ、考えの幅を広げる。図書館を活用し、問題解決能力を身に付ける。
- 第三学年** 読書を通して共感する気持ちや想像力、好奇心を育む。自分の考えをまとめ、積極的に表現する姿勢を養う。

具体的な取り組み

各教科について

- 図書館の蔵書を活用し、問題解決学習、調べ学習、グループ学習を行う。
- 情報収集能力、情報活用能力を身に付ける。

読書科について

- 「朝読書」による読書の推進、習慣化。
- 「POP コンクール」「ブックトーク」「ビブリオバトル」等による意欲の向上。

総合的な学習の時間について

- 学び方や考え方を身につける。
- 課題の探究に主体的に取り組む。
- 段階的に情報活用能力を育成する。

特別活動について

- 図書委員会の活動を活発化させ、読書活動を自主的に推進していく。
- 特別活動内で図書館を積極的に活用する。

道徳について

- 図書資料を通して、様々な生き方や考え方に触れ、視野を広げ道徳的心情を養う。

家庭・地域との連携について

- 学校応援ボランティア、公立図書館との連携。
- 学校公開日の図書館開館。

読書科の充実

図書環境の整備・充実

教員の意識の改善と向上